

---

# エキストラの想い

そらまめ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

エキストラの想い

### 【Zコード】

Z5785A

### 【作者名】

そらまめ

### 【あらすじ】

十と千尋の神隠しのエキストラ達の知られざる想いです

無人駅に女が一人おりまして

悲しみが通り過ぎていく

私は一人無人駅

何年も通らない電車を待つ

カタンコトン…

久しぶりの電車の音に

私は驚く

中に少女と黒い影

傍らにはネズミとハエ

少女の顔は妙にオトナびていて  
寄り道をする私をふるいたたせる

そして彼女は無人駅を去りました

湯屋の女達が何やら話しております

世の中そんなに甘くナイ  
運命なんて変わりやしナイ

私の部屋の新入りも

何が変わるわけでもナイ

私はここから出られナイ

あの娘もきっと出られナイ

だけどリンの話では

あの娘はなんとか出ていった

電車が通るワケがナイ

世の中といつも電車

運命といつも電車

だけどあの娘の話では

行けば

「電車」

はアルらしい

そして女達は夢を語りだしました

揺れる車内、男は降りる準備をしていました

俺はどこまでゆくのだろう

飛び乗ったこの電車

行き先がまるで分からない

ゆれる ゆれる

電車の音

ふくらむ ふくらむ

俺の不安

揺れる自分に耐えきれなくて

俺は降りることにする

悲鳴をあげるブレーーキの音

ちぢむ ちぢむ

俺の不安

ゆれる ゆれる

少女がひとり

俺は最後の乗客のはずだった

あれから彼は次の電車を待ち続けています

こつたい少女はどこへ行ったのでしょうか

それは誰にも分かりません  
今日もここは真っ青な空  
白い竜がはっきり見えました

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5785a/>

---

エキストラの想い

2010年10月9日03時44分発行